

中央製機株式会社

日本一商品名(開発年)

スペアタイヤキャリア(一九六〇)

所在地 富士市五貫島一三一〇

TEL 〇五四五(六一)三四二三

FAX 〇五四五(六四)二三四三

代表者 渡辺芳男(六十一歳)

創業 一九六〇年 資本金 一、二〇〇万円

従業員 五〇人(男四三人・女七人)

売上高 一億円 経常利益 三三〇万円

研究者・技術者比率 一二% 研究開発費 三・六%
支店・営業所等

経営理念・社是

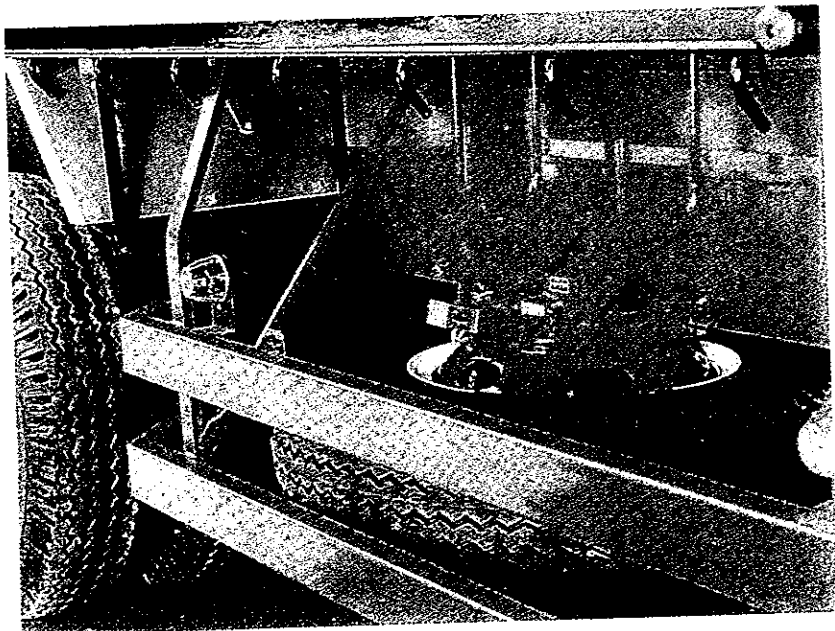
創意工夫

●こんな会社

一九六〇年に中央製機有限会社を設立した。設立当初、従業員は七、八人であった。一九七三年に有限会社から株式会社組織変更し、社名を中央製機株式会社に変更した。ベンチャー企業として、自動車装備部品の開発を行ってきた。科学技術庁長官賞(二回)、中小企業庁長官賞を受賞している。

●こんな商品

ナンバーワン商品は、トラックやバスの車体下部に取り付けるスペアのタイヤを保持する製品「スペアタイヤキャリア」(四代目)である。一九九五年末における業界シェアは六五%。系列会社を通じて、大手自動車メーカーおよびボディ・架装メーカー等に納入。日本はもとより、アメリカ、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ブラジルなどの国々で特許を取得している画期的な製品である。安全性、操作性、シンプルさ、品質、価格などに



優れている。ユーザーの立場に立つて研究・開発した独自の遊星ギア方式を取り入れた変速方式と、二重逆転防止構造(PAT)を採用している。小型車から大型車まで幅広い機種があり、あらゆる車種に対応する。流通を支える陰の力である。

また、「アオリバランサー」という業界初の中型トラック用のアオリ戸開閉補助装置もある。

●開発のきっかけ・販売方法

これまでのスペアタイヤ保持器は、操作に時間がかかり、重く、取り扱いが面倒であった。その不便さを痛感し、改良を重ねて商品化にこぎつけた。

販売は、大手メーカー、ボディ・架装メーカーへの直接販売と、小売店での販売が行われている。

●チャレンジ

新たに業界一の製品づくりをめざして新製品・新技術の開発への取り組みを一層充実していきたい。